

平成29年12月26日(火) 第4回運営委員会

SLIM Japan 平成30年度 活動計画(案)

NPO法人 社会基盤ライフサイクルマネジメント研究会
(SLIM Japan) 運営委員会

平成29年度振り返り、今後の活動計画の方向性

1. インフラメンテナンス国民会議との連携が主となる。当初会員170者から現在700者を越える規模となる。(行政会員175者)国民会議の関心度が深まり基盤が構築されて来ている。関わりが多くなった。
2. 技術者育成フォーラム、市民参画フォーラムに係わる(専門分野アドバイス、ファシリテーター等条件を把握して支援する) SLIM JAPANの企画提案が重要視されている。中国地方フォーラムの構築支援
3. 有料道路白糸ハイランドウェイを拠点とした地域貢献型ワークショップの継続 今後に向けて水面下での具体的活動への情報収集は実施した。
4. CNCP各委員会との連携しての効果活動をする(特にファシリテーター養成と実践)町づくり協働作業への参画 市民協働WGと連携し準備作業(事例集)
5. 講演会、ミニセミナーの積極的開催する 会員の専門分野の紹介と情報共有のネットワークで組織の活力を目指す 今後に向けて可能性の確認まで。
6. 広報(HP等)を充実し、幅広く新規会員募集を目指す HPの改善進めている。募集に対して消極的だったが、新規会員あり、次年度に向けて期待できる。

平成30年度事業活動計画の方向性(案)

- インフラメンテナンス国民会議との連携活動を主軸とする。自治体行政会員も増えより支援を要請する基盤が出来てきた。(技術者育成、市民参画、自治体支援、海外展開フォーラム)
- 特に、地方フォーラムの確立として中国地方整備局事務局の企画支援は全国的な事例に期待できる。(フォーラムリーダー)
- 海外展開フォーラムの企画運営についての参画する(会員企業・個人の実績の活用支援)
- 有料道路白糸ハイランドウェイをプラットフォームにして地域貢献型インフラブランディング構想の支援(技術者育成+地域活性化)自治体交流
- CNCP各委員会との連携を効果活動とする(各役割の充実)
- 会員の得意分野の推進活動として、ミニセミナー、講演会、フォーラムにコミュニケーションの機会を作り、繋げて行く。HP.SNSの充実により、シニアエンジニアの活躍と次世代への伝承としても会員募集も積極的に活動する。

平成30年度活動計画(案)

	第1(1月～3月)	第2(4月～6月)	第3(7月～9月)	第4(10月～12月)
調査・研究 開発関係	海外インフラメンテナンス情報共有活動(オーストラリア・香港他)	海外インフラメンテナンス情報共有活動		
政策提言・ 提案関係	インフラメンテナンス国民会議 (技術者育成・海外展開フォーラム) ・インフラメンテナンス技術者セミナーとして継続 ・中国地方フォーラムの先導的参画(西日本地区の参加)	インフラメンテナンス国民会議 (技術者育成・海外展開フォーラム) ・インフラメンテナンス技術者セミナーとして継続 ・中国地方フォーラムの先導的参画(西日本地区の参加)	インフラメンテナンス国民会議 (技術者育成・海外展開フォーラム)・インフラメンテナンス技術者セミナーとして継続 ・中国地方フォーラムの先導的参画(西日本地区の参加)	インフラメンテナンス国民会議 (技術者育成・海外展開フォーラム)・インフラメンテナンス技術者セミナーとして継続 ・中国地方フォーラムの先導的参画(西日本地区の参加)
技術・経営 サポート関係	・白糸ハイランドウェイスマートコミュニティワークショップ (情報収集+現地技術指導) ・市民町づくりWS継続支援(ファシリテーター)	白糸ハイランドウェイスマートコミュニティワークショップ (インフラメンテ+観光地域貢献WS)		
人材育成・ 広報関係	CNCP各委員会との連携 ・地域協働コーディネーター養成 (ファシリテーター養成) ・ミニセミナーの開催 (会員によるPRとスキル情報共有)	地域ワークショップファシリテーター実践(充足)		H30年度SLIMJAPAN講演会(シンポジウム開催予定)
その他活動	次世代の伝承のため、新規会員募集、 HPの有効活用の改善	部会活動を充実させる	次世代の伝承のため、新規会員募集、 HPの有効活用の改善	部会活動を充実させる

SLIM JAPAN 現在の体制と機能

H.29.12.26現在

